

こんにちは

日本共産党
県議会活動報告
週刊ニュース

2015年3月22日 NO.838



さら とみ ひ

吉良富彦 です。

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

被曝から61年 初健康相談会

昨年9月予算委員会で、太平洋核被災支援センターの取組みをもとに県に対応を求めた吉良質問が、今回の相談会実施となり、37名の参加がありました。被災者の高齢化が進んでおり、支援センターによる暮らし相談も行われました。県は継続して取り組むとしています。

危険な一宮東の県道 要望を受け現地調査

県の工業団地建設に伴い交通量増大が予想される

一宮東地区の皆さんの不安の声を受け、現地調査行いました。当日は、県の担当部局の職員に



現場を案内。対応がなされる事となりました。



吉良質問 県動かす

この16日、室戸市で県による被曝船員を対象にした相談会と広島大学の放射線研究者の講演が開かれました。

ビキニ環礁水爆実験

元漁船員ら参加



被災支援センターが開いた相談会＝16日、高知県室戸市

高知県室戸市で16日、県が主催する「ビキニ環礁水爆実験の健康影響に関する健康等相談会」が開かれました。県がビキニ環礁水爆実験を被害者として健康相談会を開くのは初めてで、元漁船員やその家族12人を含め37人が参加しました。

県が初の健康相談会 高知・室戸

文書を開示し、改めて漁船の大規模な被災が明らかになっています。「第七六丸」の元乗組員だった岡崎七津さん(88)は室戸市と相談会に参加。貴美子さん(80)は「父は、胃潰瘍やS字結腸がんを患いました。ビキニ近海で操業しては、つい最近まで知りませんでした。父の病状と放射線の関係があるのではないかと思い始めました」と話していました。



オンラインにやんでも通信

●日本共産党演説会に千五百名！
「自共対決」の 県・市議選
志位委員長を主弁士に演説会が行われました。私も、県議会選挙での必勝を期し頑張ってきた思いをお話しさせていただきました。ご支援をお願いしました。



自民党県議団は、知事も教育長も少人数学級を進めるとして国に物申しているのに、昨年12月議会、少人数学級推進の決議案に反対し、いままた、今議会では「TPP交渉から即時撤退」とした県議会決議から後退した議案提出等、県政の足を引っ張っています。